

# 事業概要

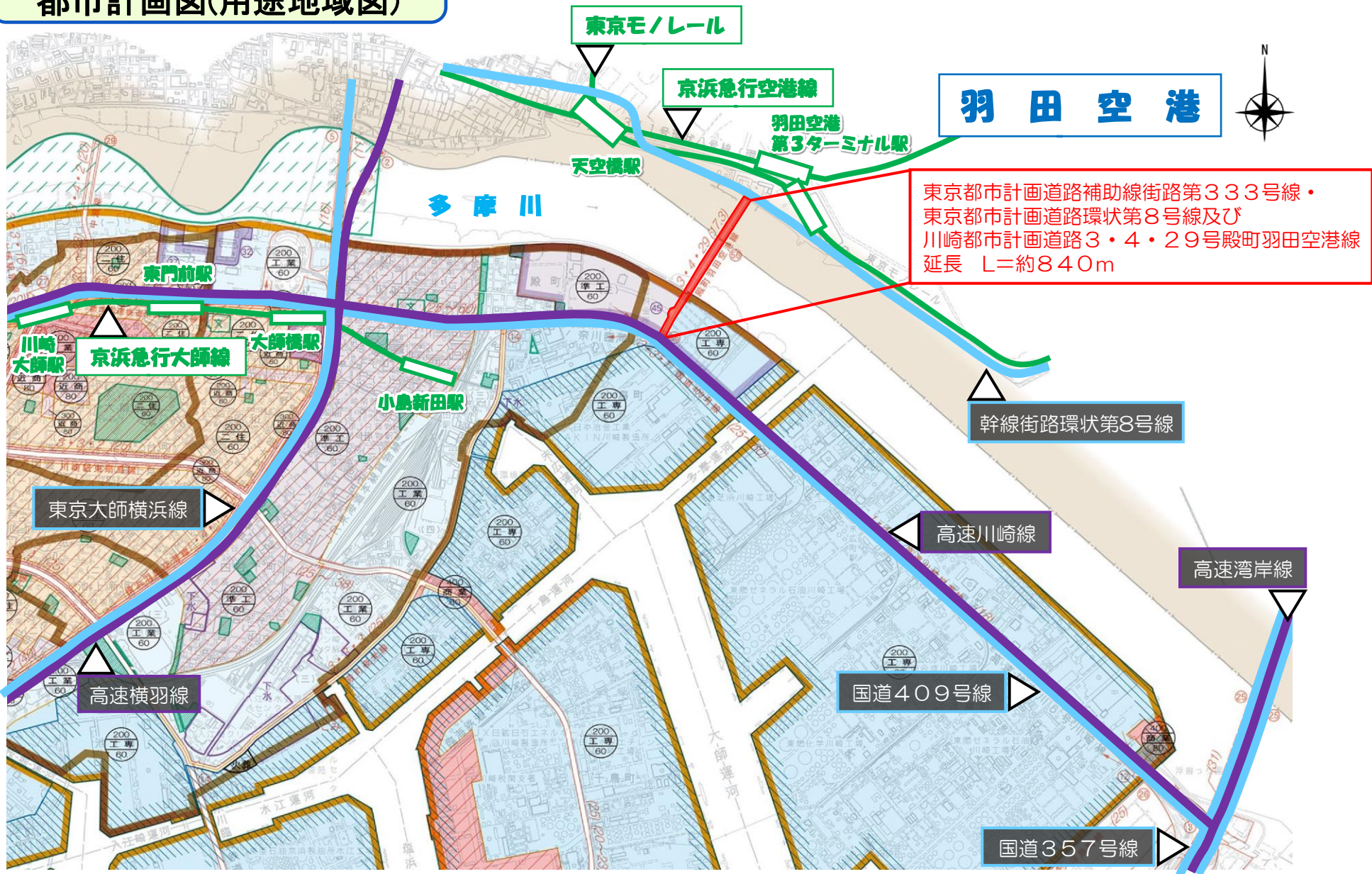
(川崎市・東京都：(都) 殿町羽田空港線)

応募No.	(事務局入力欄)		
事業主体	川崎市・東京都	事業箇所	神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目～ 東京都大田区羽田空港2丁目
応募者名	川崎市 建設緑政局 広域道路整備室・東京都 建設局 道路建設部 街路課		
ふりがな 事業名称	とうきょうとしけいかくどうろほじょせんがいろだい ごうせん とうきょうとしけいかくどうろかんじょうだい ごうせん 東京都市計画道路補助線街路第333号線、東京都市計画道路環状第8号線 およ かわさきとしけいかくどうろ ごうとのまちはねだくこうせん 及び川崎都市計画道路3・4・29号殿町羽田空港線		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、都道府県を跨いで都市再生緊急整備地域に唯一指定された「羽田空港南・川崎殿町・大師河原地域」のうち、川崎市殿町地区と羽田空港跡地地区(東京都大田区)を繋ぎ、両地区の連携を強化し成長戦略拠点の形成を支えるインフラとして、川崎市と東京都が共同で橋梁を整備したものである。</p> <p>本橋梁の架橋位置は、羽田空港に隣接し、多摩川水系河川整備計画で「生態系保持空間」に指定された河口干潟が広がっている。この豊かな自然環境を保全することに加え、航路による桁下高の制限、航空法による高さ制限、軟弱な地盤条件等を考慮した構造として、河川内橋脚を2基とし、桁高を抑制できる鋼上部工とRC橋脚を剛結した複合ラーメン構造を採用した。その結果、国内最大の支間長240mを有しながら、桁高を最大7mに抑えた他には類をみない橋梁美を実現させ、計画、設計、工事まで僅か8年とかつてないスピードで完成した。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約0.8km	
	幅員(m)	約17.3m	
	事業期間(和暦)	平成28年～令和3年	
	事業費(億円)	約294億円	
受賞歴	有・無	有【令和3年度土木学会田中賞(作品部門)、令和4年度全建賞】	
URL	<a href="https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000097966.html">https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000097966.html</a>		

# 事業位置図

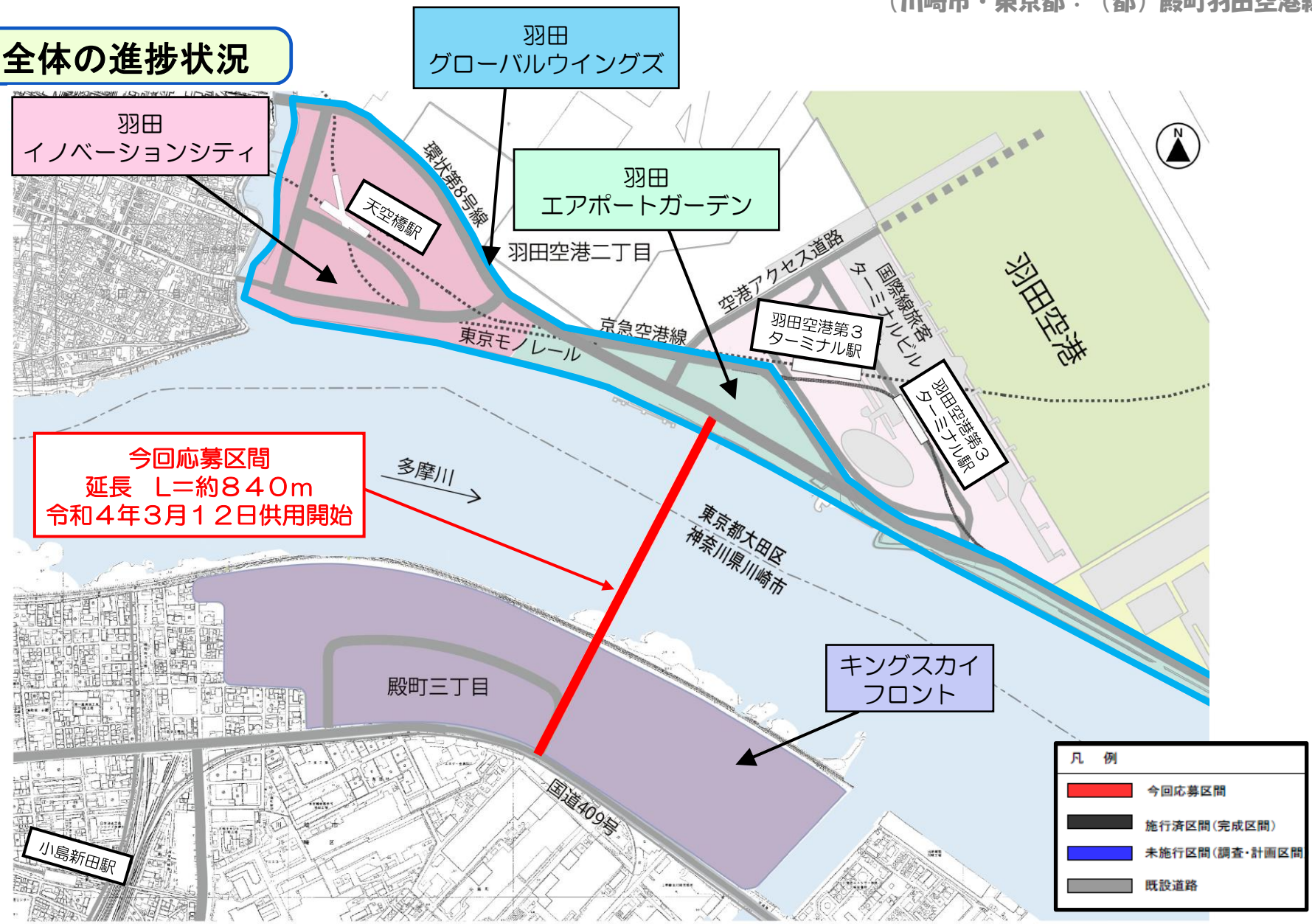


# 都市計画図(用途地域図)



東京都計画道路補助線街路第333号線・  
 東京都計画道路環状第8号線及び  
 川崎市計画道路3・4・29号殿町羽田空港線  
 延長 L=約840m

# 路線全体の進捗状況

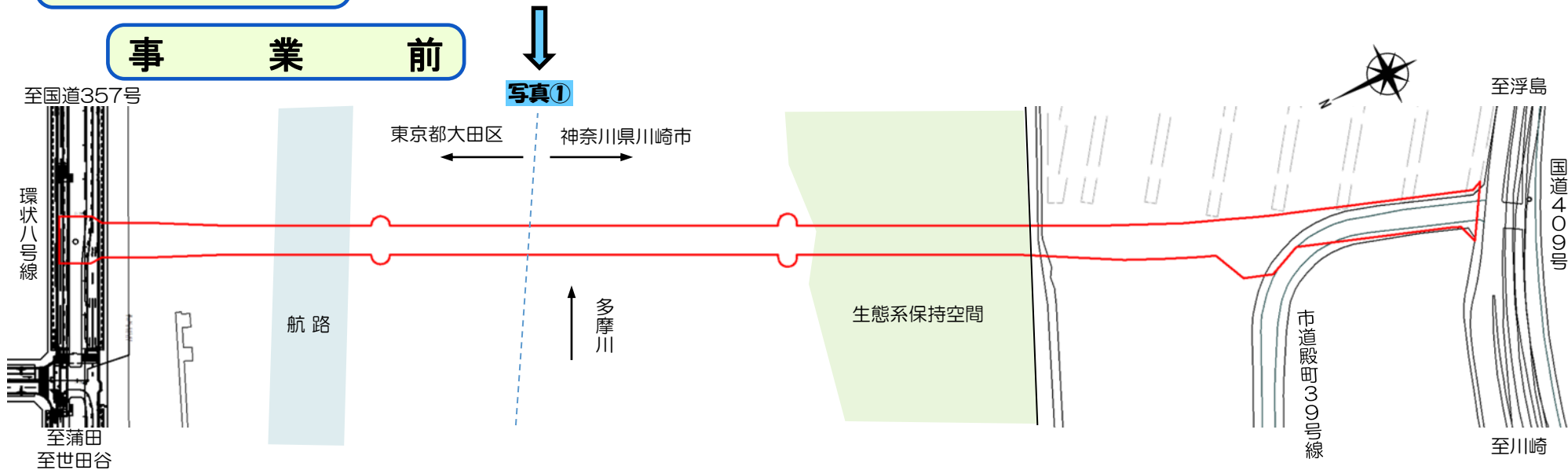


今回応募区間  
延長 L=約840m  
令和4年3月12日供用開始

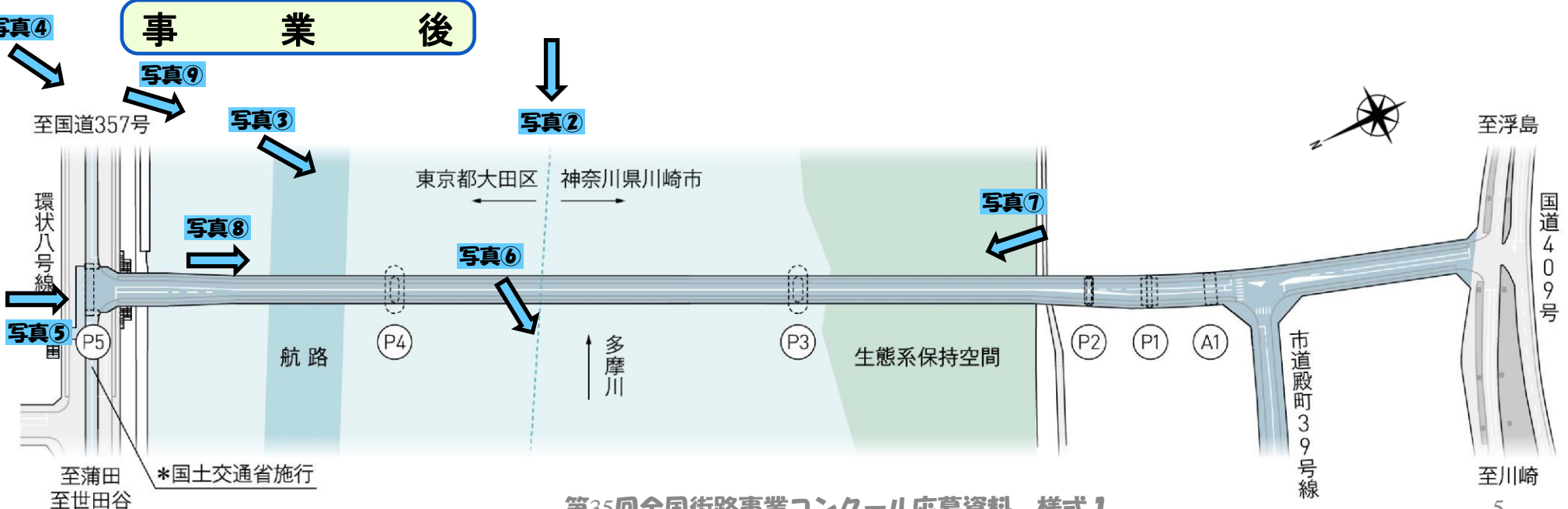
凡例	
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:red; border:1px solid black;"></span>	今回応募区間
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:grey; border:1px solid black;"></span>	施行済区間(完成区間)
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:blue; border:1px solid black;"></span>	未施行区間(調査・計画区間)
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:lightgrey; border:1px solid black;"></span>	既設道路

# 平面図

## 事業前

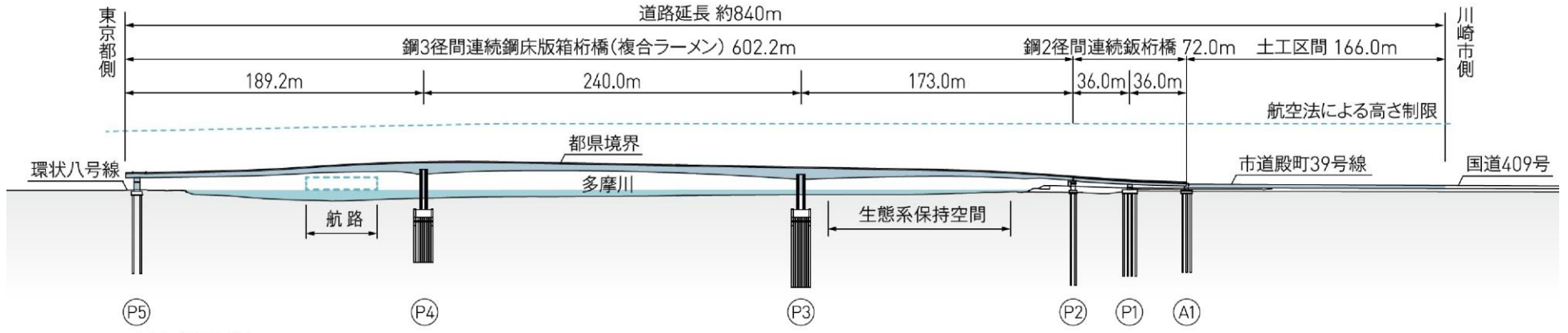


## 事業後



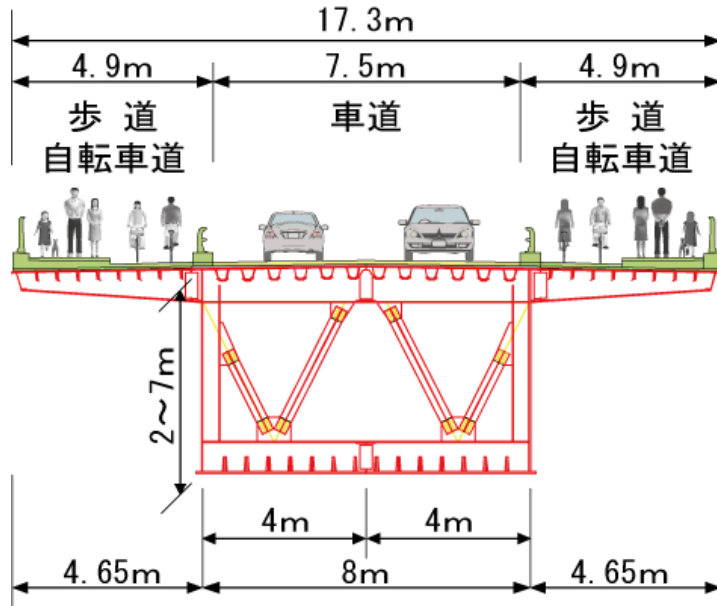
\*国土交通省施行

## 縦断図

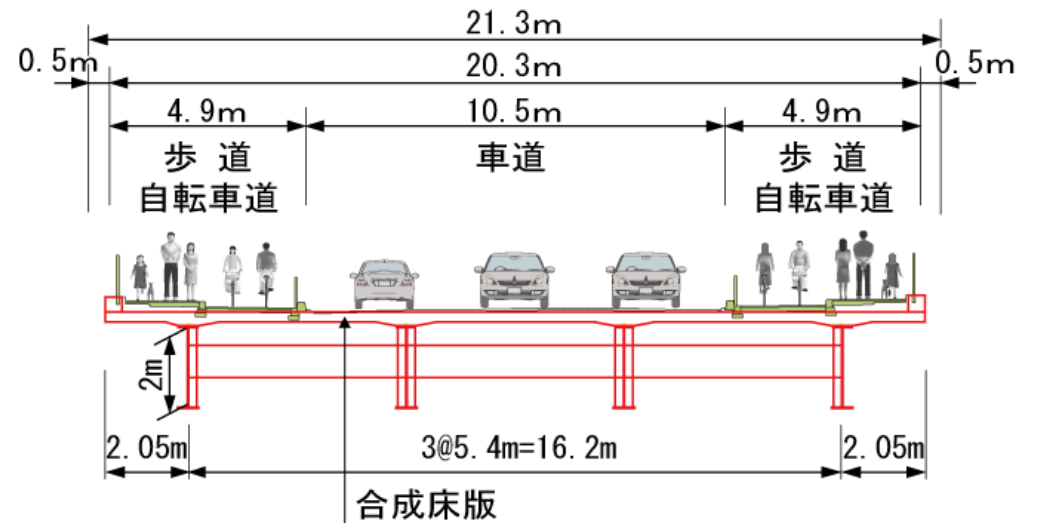


## 横断図

### 渡河部



### 取付部



事業前写真

(川崎市・東京都：(都) 殿町羽田空港線)

写真①



事業後写真

写真②



# 事業後写真

(川崎市・東京都：(都) 殿町羽田空港線)



写真③

令和3年11月撮影



写真④

令和4年2月撮影



写真⑤

令和4年2月撮影



写真⑥

令和4年2月撮影



写真⑦

令和4年2月撮影



写真⑧

令和4年2月撮影



写真⑨

令和4年2月撮影

第36回全国街路事業コンクール応募資料 様式1



## (1) 企業活動の誘発 - 多摩川スカイブリッジ開通に伴う立地選定や連携強化 -

○多摩川スカイブリッジの開通を契機に、キングスカイフロントと羽田地区との間で連携協定を締結し、今後、両地区での研究成果と高度な技術力が繋がり社会実装化されるなど、両エリアが一体となって世界で一番ビジネスのしやすい環境整備に向けた取組を進めている。

○連携事項は、「①先端的・魅力的なエリアづくり ②企業間連携の促進 ③観光・賑わいづくり」である。

### 羽田イノベーションシティ



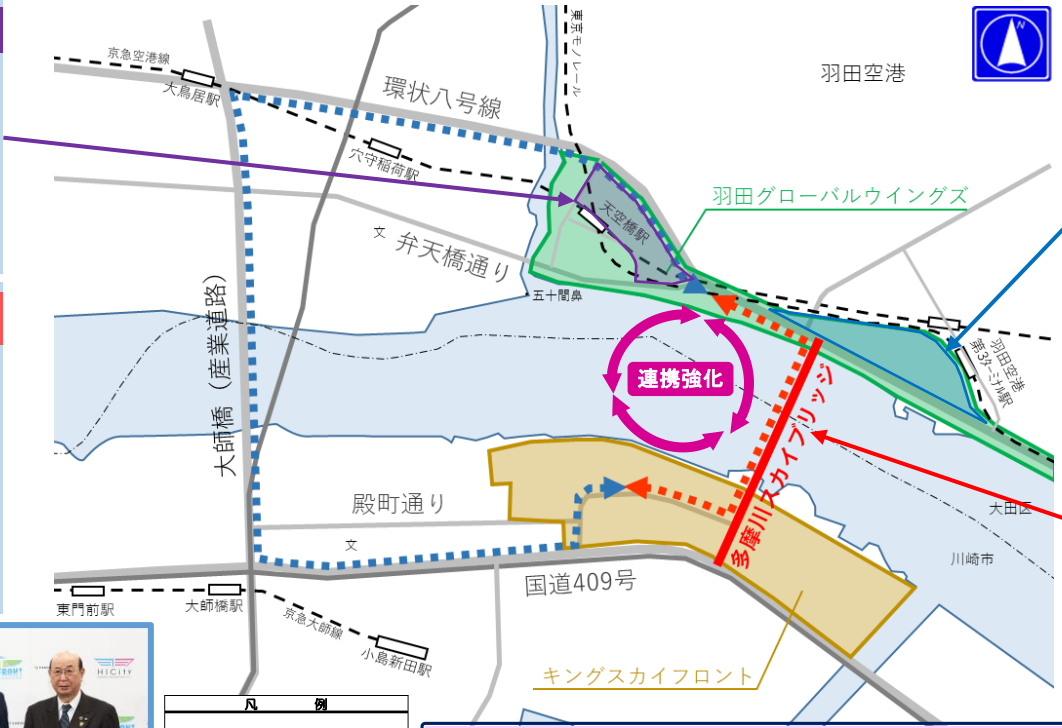
研究開発拠点（ラボ・大規模オフィス）、先端モビリティセンター、会議研修センター、ホテル、ライブホールなど

### 交通アクセスの強化



多摩川スカイブリッジ新路線バス出発式

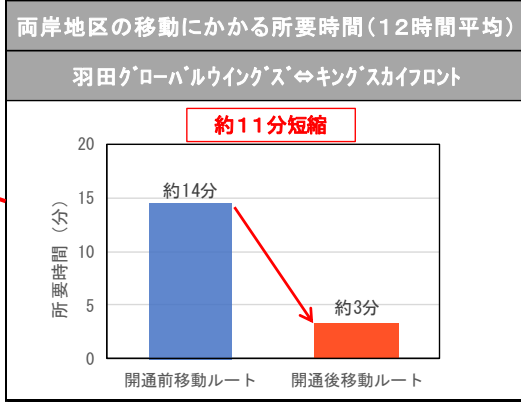
キングスカイフロントと羽田エリア間のバス路線の新設  
令和4年4月1日 運行開始



### 羽田エアポートガーデン



ホテル、天然温泉、飲食・商業施設、イベントホール、バスターミナルなど  
【ホテルは令和4年12月開業】



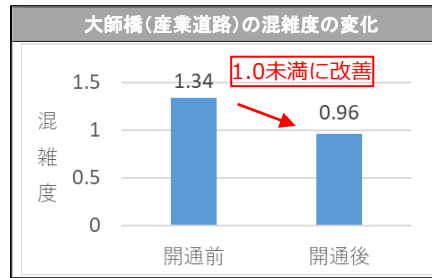
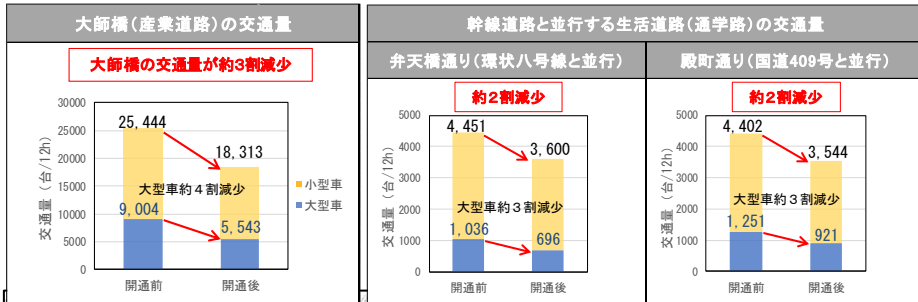
平均所要時間の短縮、バス路線の開通などによる利便性の向上により、約4割の周辺立地企業から「多摩川スカイブリッジの開通が企業活動の強化等のプラス要因となった。」と回答があるなど、特区间連携への好影響を実感されています。

※多摩川スカイブリッジ開通後、地域住民・周辺企業・多摩川スカイブリッジ利用者への意見聴取(アンケート調査)を実施した結果に基づき作成

多摩川スカイブリッジ開通記念シンポジウムでの3拠点包括協定締結式(令和4年3月12日)

## (2) 周辺交通の円滑化・地域の安全性向上 - 混雑の改善・周辺地域間のリダンダンシー(代替性) -

- 多摩川スカイブリッジの上流に位置する大師橋の交通量が3割減少し、大師橋の混雑状況が改善
- 生活道路である殿町通り(通学路)の交通量が約2割減少し、生活道路の安全性が向上
- 多摩川スカイブリッジにより、羽田空港と周辺地域間の交通ネットワークが強化され、リダンダンシー(代替性)効果が向上
- 新たな橋梁が整備されたことにより、川崎市～大田区間のリダンダンシー(代替性)が確保され、防災性が向上

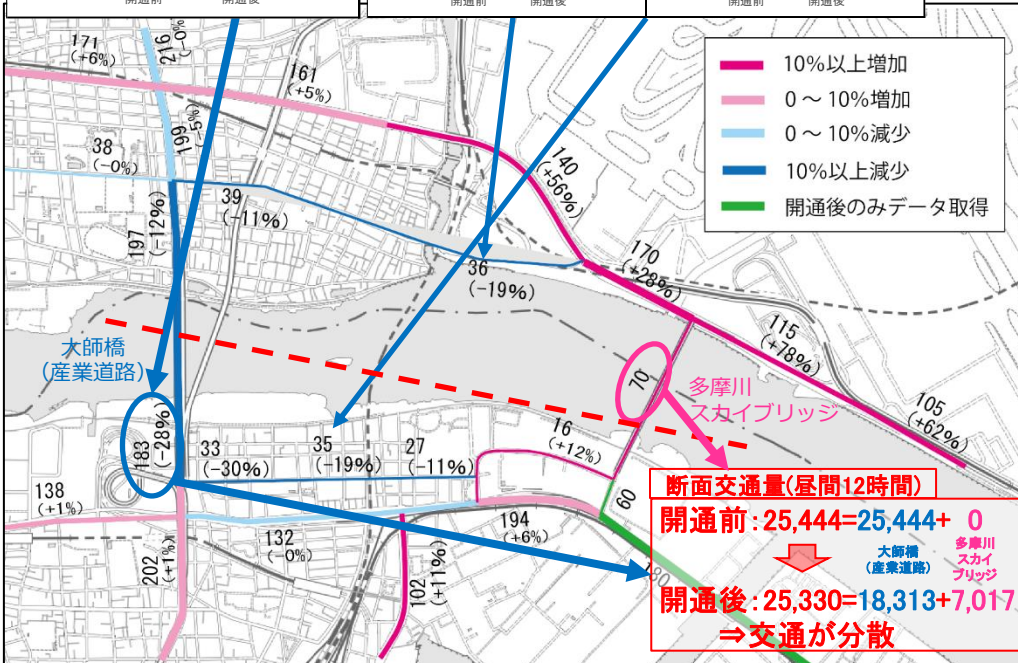


### 羽田空港～周辺地域間を接続する経路



多摩川スカイブリッジの整備により、羽田空港～周辺地域間を橋りょうで結ぶ経路の数が2つから3つに増加

混雑度	交通状況の推定
1.0 未満	昼間 12 時間を通して、道路が混雑することが無く、円滑に走行できる
1.0～1.25 未満	昼間 12 時間のうち、道路が混雑する可能性のある時間が1～2 時間ある
1.25～1.75 未満	ピーク時間を中心に混雑する時間帯が加速的に増加する可能性の高い状態
1.75 以上	慢性的混雑状態を呈する



### 大師橋が通行不可となった場合の交通状況(交通量推計結果)



多摩川スカイブリッジ開通後の周辺道路における交通量の変化(昼間12時間)

## (3) 交通安全の向上 – 地域の方が感じる周辺道路の安全性・快適性 –

- 多摩川スカイブリッジの開通による「周辺道路の車の流れ」について、地域住民の方は、特に産業道路で車の流れが良くなったと感じている。
- 多摩川スカイブリッジは、自動車・バス利用時、自転車利用時、徒歩利用時のいずれの手段においても地域住民の約8～9割が安全・やや安全と感じている。
- 多摩川スカイブリッジの開通による「周辺道路の歩行者や自転車の安全性」について、地域住民の過半数は「変わらない」と感じているものの、約3～4割は安全性・快適性が高まったと感じている。

※多摩川スカイブリッジ開通後、地域住民・周辺企業・多摩川スカイブリッジ利用者への意見聴取（アンケート調査）を実施した結果に基づき作成

## (4) 賑わいの創出 – 多摩川スカイブリッジの利用目的 –

- 多摩川スカイブリッジは、令和3年度土木学会田中賞（作品部門）を受賞するなど、景観性などで高い評価を受けている。また、徒歩・自転車での来訪者の約9割、地域住民の約6割が「多摩川スカイブリッジの整備によって多摩川河口の景観がよくなった・どちらかというよくなった」と回答。
- 徒歩・自転車での来訪者の8割以上は、「ジョギング・サイクリング」や「風景を見に来た」など、多摩川スカイブリッジを目的とした来訪である。また、開通後にサイクリングや散歩・ジョギングのしやすさが改善したとの回答がそれぞれ8割以上となった。
- 開通後、初めての元日は、橋上からの初日の出を見るため、下流側の歩道に多くの人が集まり、賑わいが見られた。

※多摩川スカイブリッジ開通後、地域住民・周辺企業・多摩川スカイブリッジ利用者への意見聴取（アンケート調査）を実施した結果に基づき作成

《2023年1月1日 開通後初めての初日の出の様子》



## 【計画】豊かな自然環境に配慮した国内最大の複合ラーメン橋

### 以下の①～③の厳しい条件をクリアする構造や施工方法の検討

#### ①生態系保持空間の保全

- 生態系保持空間には橋脚、仮設構造物を設置せずに橋梁を計画し同空間を保全

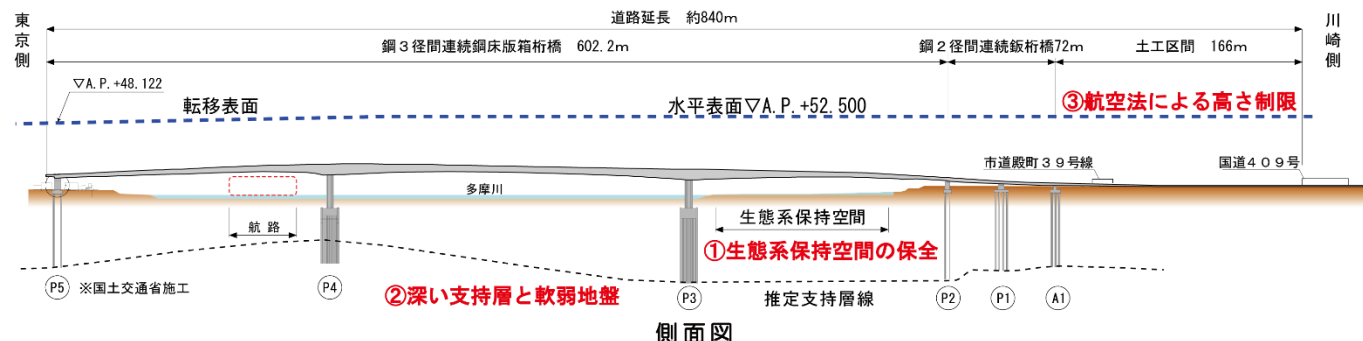
※生態系保持空間とは、学術的に価値づけられる広域的にみた貴重な生態系を保持しようとする空間（研究目的以外の立入を原則禁止されている）

#### ②深い支持層と軟弱地盤

- 上層40m程度まではN値10未満の軟弱な粘性土層、支持地盤までは40m～50m

#### ③航空法による高さ制限

- 転移表面及び水平表面を超えて構造物設置や作業もできない



側面図

- 生態系保持空間の保全や干潟に飛来する鳥類等、自然環境に最大限配慮するとともに、維持管理性、景観性等、総合的な観点から橋面上に構造物のない鋼3径間連続鋼床版箱桁橋を採用
- 更に軟弱地盤と深い支持層を考慮し、複合ラーメン構造を採用することで、国内最大の中央支間長240mを有しながら、桁高を7mまでに抑え、河口の水平基調の景観に調和したスレンダーな橋梁美を実現

## 【設計】環境に配慮し景観性・維持管理性の向上を図った細部設計



低位置照明

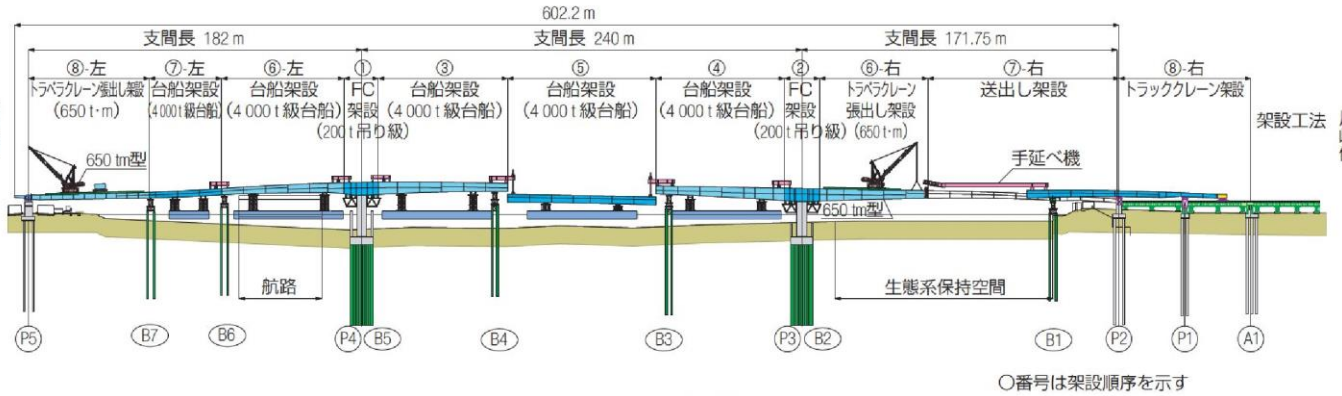


鋼製排水溝

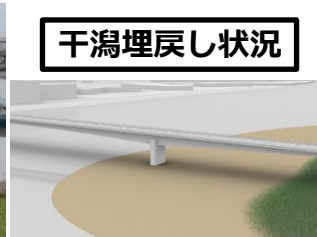
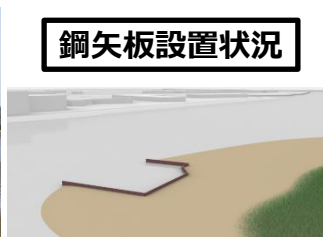
- 照明は生態系への配慮から水面への漏れ光を低減するため、車両用防護柵および高欄に内蔵した低位置照明を採用。それにより、照明器具の交換や橋梁点検車での点検が容易になる等、維持管理性が向上
- 歩道マウントアップ部を活用した鋼製排水溝の設置により、桁側面の排水管を最小限とするなど、維持管理部材を低減させるとともに景観性も向上

## 【施工】環境に配慮した合理的な施工

- ・仮設構造物を含め、河積阻害率を5%以下とすることで、河川内での通年施工を実施
- ・台船架設、張出し架設、送出し架設を併用し、生態系保持空間を保全
- ・生態系保持空間上となる側径間約170mは、張出し架設と送出し架設を併用し、同空間を保全し架設



- ・干潟等の保全に向け「環境モニタリング計画」を策定し、工事期間中継続した四季環境調査により、生態系への影響について確認しながら施工するとともに、浚渫した一部の干潟について「干潟の保全・回復計画」を策定し復元



## 【広報】工事進捗状況の周知・PR・イベント等

◀羽田連絡道路だより(全18号)▶    ◀「橋梁名称の公募」▶    ◀「殿町キングスカイフロント 夏の化学イベント」▶    ◀「市ブランドメッセージポスター」▶    ◀「道路お絵かきイベント(地元小学生)」▶    ◀「ハネレン女子の現場日記(全100ツイート)」▶    ◀「多摩川スカイブリッジ開通記念弁当」▶



第36回全国街路事業コンクール応募資料 様式1

KAWASAKI 20XX

開通関連の報道

【新聞（2022年3月13日他）】

- ・読売新聞
- ・朝日新聞
- ・日本経済新聞
- ・産経新聞
- ・毎日新聞
- ・神奈川新聞
- ・東京新聞
- 他多数

【TV報道（2022年3月12日他）】

- ・NHK
- ・日本テレビ
- ・テレビ朝日
- ・TBS
- ・フジテレビ
- ・テレビ東京
- ・テレビ神奈川
- 他多数

開通以外の報道（橋梁名称決定・イベント・事業効果・雑誌掲載等）

【新聞】

- ・橋梁名称決定：朝日新聞（2021年7月13日）他
- ・開通日決定：日本経済新聞（2021年12月22日）他
- ・開通前イベント：神奈川新聞（2022年2月21日）他
- ・開通記念弁当：読売新聞（2022年3月12日）他
- ・事業効果：産経新聞（2023年1月30日）他
- 他多数

【雑誌】

- ・橋梁と基礎（2022年1月号）
- ・基礎工（2022年5月号）
- ・虹橋（2022年7月号）
- ・月刊「土木技術」（2022年11月号）
- ・AQUA BOOK（2023年1月号）
- ・建設マネジメント技術（2023年7月号）
- 他多数書籍の表紙等

【TV報道】

- ・テレビ東京 WBS（特区エリア紹介：2022年3月9日）
- ・TBS THE TIME（気象中継：2022年3月11日）
- ・テレビ神奈川 LOVEかわさき（開通記念弁当：2022年3月19日）
- 他多数

# 受賞歴

(川崎市・東京都：(都) 殿町羽田空港線)

## 令和3年度 土木学会田中賞（作品部門）を受賞



## 令和4年度 全建賞を受賞

